

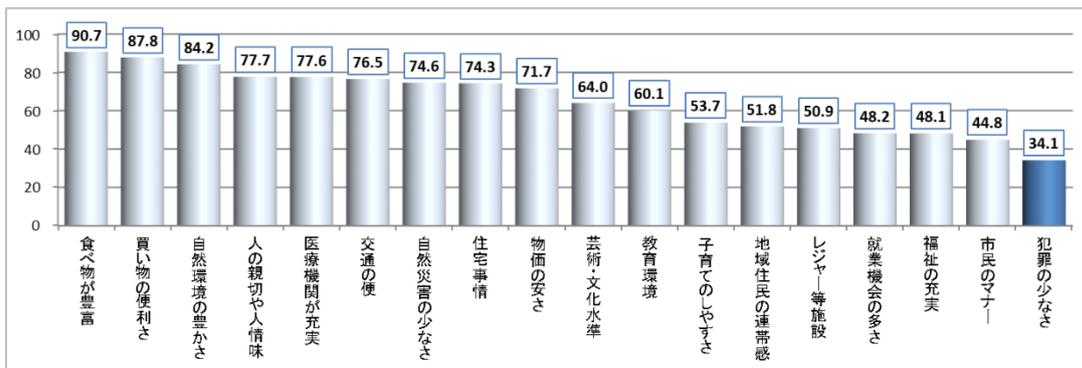
第2章 犯罪の現状

1 防犯に関する市民の意識

(1) 犯罪の少なさに対する満足度

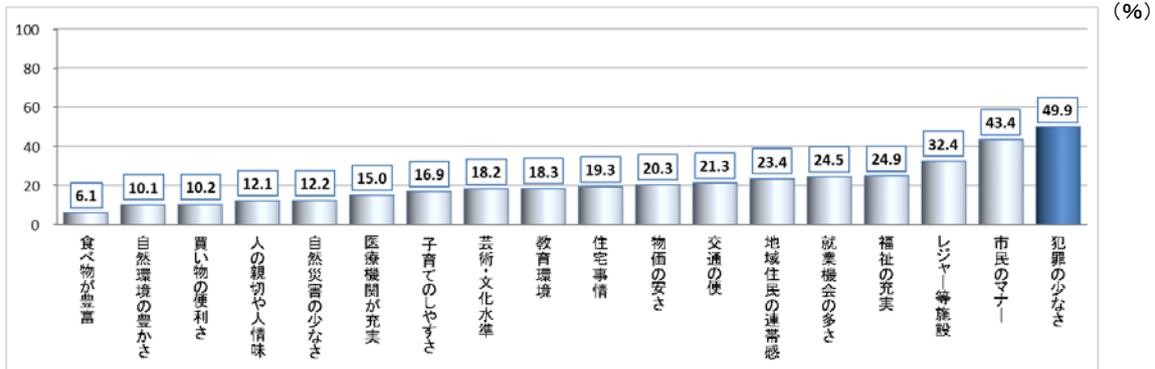
平成30年度に実施した「市政に関する意識調査」の「福岡市の都市環境等に関する満足度」の中で、「犯罪の少なさ」に対する満足度は34.1%と全18項目中最も低くなっています。また、「犯罪の少なさ」に対する不満度については、49.9%と全18項目中最も高くなっています。〈図表1, 2〉

〈図表1〉「福岡市の都市環境等に関する満足度調査」における「満足している」割合(平成30年度) (%)



出典: 福岡市市長室「市政に関する意識調査」

〈図表2〉「福岡市の都市環境等に関する満足度調査」における「不満がある」割合(平成30年度) (%)

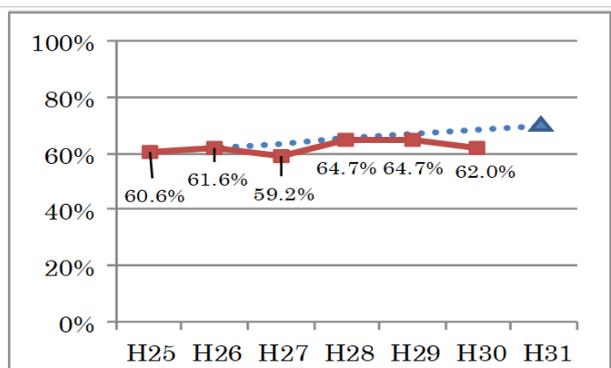


出典: 福岡市市長室「市政に関する意識調査」

(2) 地域の犯罪の少なさに対する意識

平成30年度に実施した「基本計画の成果指標に関する意識調査」の中で、「自分の住んでいる地域が犯罪の少ない安全なまちだと思う人」の割合は62%と、平成25年度の初期値と比べると増加しているものの、昨年度から2.7%減少しています。〈図表3〉

〈図表3〉自分の住んでいる地域が犯罪の少ない安全なまちだと思う人の割合(平成30年度)



出典: 福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」

2 刑法犯認知件数の推移

本市の刑法犯認知件数は、平成14年の57,578件をピークに減少しており、平成30年は14,916件とピーク時に比べ約3割に減少していますが、刑法犯認知件数を人口千人当たりで見ると、本市は政令指定都市中ワースト上位で推移しているなど、未だ憂慮すべき状況です。

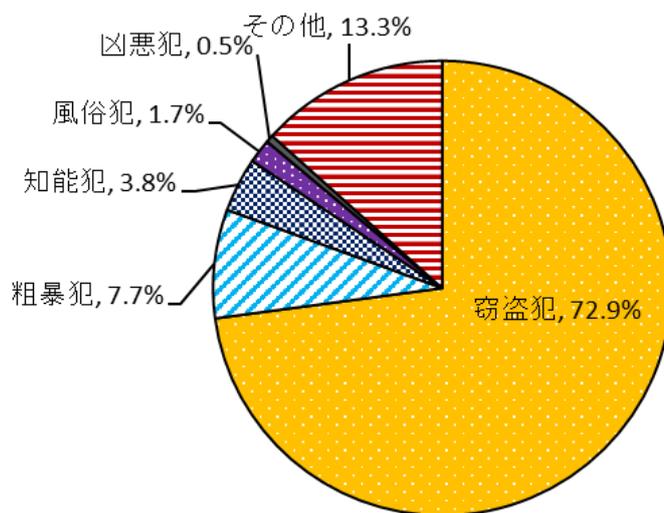
罪種別認知件数においては、他の政令指定都市と同様に、窃盗犯の刑法犯認知件数が最も多く、本市においては平成26年以降、その割合は6.1%減少しているものの、未だ約7割を占めています。〈図表4、5、6、7〉

〈図表4〉福岡市における刑法犯認知件数の推移



出典：(全国)警察庁「平成30年警察白書」／警察庁「犯罪統計資料平成30年1～12月分[確定値]」
(福岡市)福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成30年中)[確定値]」

〈図表5〉福岡市における刑法犯認知件数の内訳(平成30年)



出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成30年中)[確定値]」を基に作成

〈図表6〉政令指定都市の刑法犯認知件数(平成30年)

(件)

市名	刑法犯合計	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	参考	
								人口千人あたりの発生件数	ワースト順位
札幌市	11,718	69	1,248	7,686	375	391	1,949	5.96	13
仙台市	7,370	29	466	5,275	481	84	1,035	6.77	10
さいたま市	10,560	50	664	7,888	436	88	1,434	8.11	7
千葉市	8,391	51	466	6,259	355	89	1,171	8.58	6
横浜市	17,464	134	1,327	12,093	1,698	223	1,989	4.67	20
川崎市	7,590	43	456	5,627	578	101	785	5.00	19
相模原市	4,243	22	196	3,285	194	83	463	5.87	14
新潟市	4,968	24	361	3,570	206	38	769	6.21	12
静岡市	4,004	25	349	2,792	231	37	570	5.76	15
浜松市	4,216	18	376	2,840	200	60	722	5.24	17
名古屋市	22,514	118	1,729	15,680	939	173	3,875	9.69	2
京都市	11,660	57	724	8,624	513	143	1,599	7.94	8
大阪市	45,015	342	2,517	34,977	1,876	501	4,802	16.51	1
堺市	7,671	58	377	5,991	294	86	865	9.23	4
神戸市	13,407	94	1,522	8,656	811	162	2,162	8.78	5
岡山市	4,542	17	369	3,337	184	32	603	6.29	11
広島市	6,859	50	593	4,636	420	87	1,073	5.72	16
北九州市	6,504	44	796	3,967	286	109	1,302	6.88	9
福岡市	14,916	80	1,152	10,870	574	255	1,985	9.43	3
熊本市	3,784	28	352	2,631	170	41	562	5.11	18

出典: (福岡市)福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成30年中)[確定値]」

(その他政令指定都市)各都市に照会

※人口は平成30年12月1日付推計人口

※包括罪種(類似性の強い罪種を包括した分類名称)の内容

包括罪種名	罪種・手口
窃盗犯	住宅侵入窃盗(空き巣, 忍込み, 居空き), 自転車盗, オートバイ盗, 車上ねらい, 部品ねらい, 自動販売機ねらい, ひったくり, 自動車盗など
粗暴犯	凶器準備集合, 暴行, 傷害, 脅迫, 恐喝
知能犯	詐欺, 横領, 偽造など
風俗犯	賭博, 強制わいせつ, 公然わいせつなど
凶悪犯	殺人, 強盗, 放火, 強制性交等
その他	公務執行妨害, 住居侵入など上記以外の刑法犯

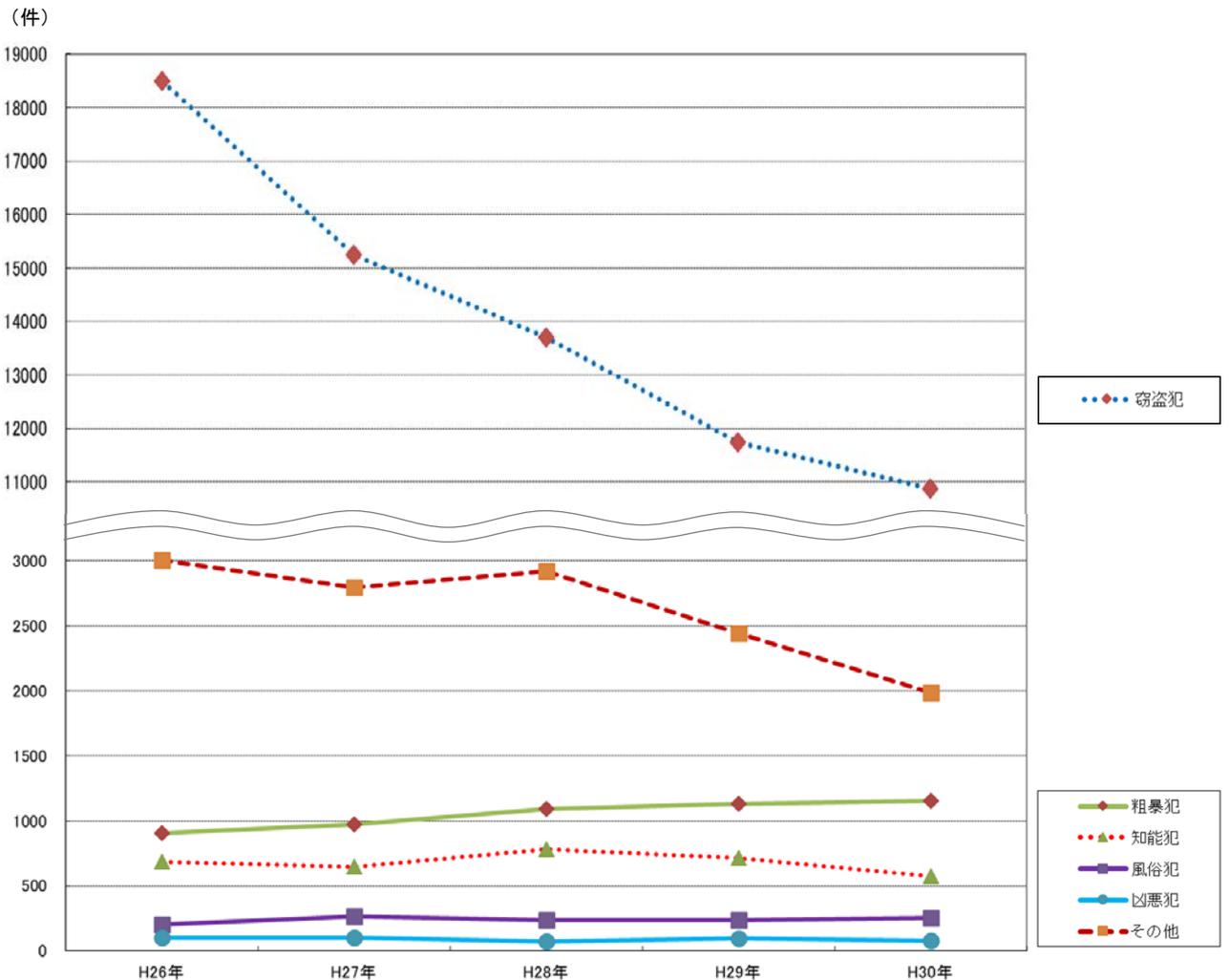
出典: 福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成30年中)[確定値]」

警察庁「平成30年の刑法犯に関する統計資料」

〈図表7〉福岡市における刑法犯(包括罪種別)認知件数の推移 (上段は件数, 下段は構成比で%)

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
総数	23,400	20,033	18,813	16,361	14,916
窃盗犯	18,497 (79.0%)	15,249 (76.1%)	13,705 (72.8%)	11,736 (71.7%)	10,870 (72.9%)
粗暴犯	908 (3.9%)	971 (4.8%)	1,094 (5.8%)	1,133 (6.9%)	1,152 (7.7%)
知能犯	688 (2.9%)	649 (3.2%)	782 (4.2%)	715 (4.4%)	574 (3.8%)
風俗犯	204 (0.9%)	264 (1.3%)	238 (1.3%)	236 (1.4%)	255 (1.7%)
凶悪犯	98 (0.4%)	102 (0.5%)	71 (0.4%)	97 (0.6%)	80 (0.5%)
その他	3,005 (12.8%)	2,798 (14.0%)	2,923 (15.5%)	2,444 (14.9%)	1,985 (13.3%)

出典:福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 26~30 年中)[確定値]」



出典:福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 26~30 年中)[確定値]」を基に作成

3 市民生活に身近な犯罪の発生状況

(1) 福岡市の状況

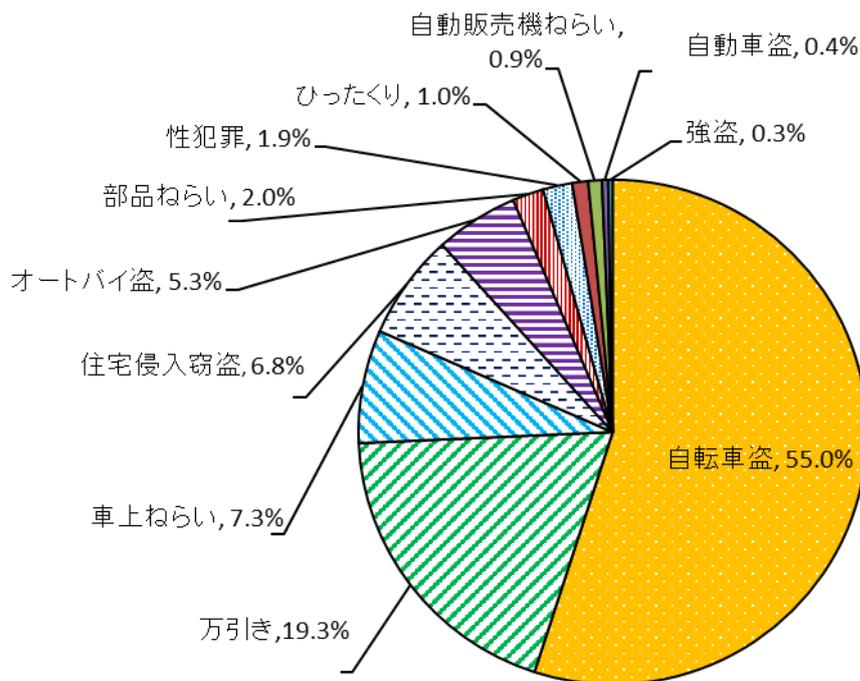
本市における市民生活に身近な犯罪(※)の認知件数の内訳をみると、平成30年は自転車盗が55%と過半数を占めています。次いで、万引きが19.3%、車上ねらいが7.3%、住宅侵入窃盗が6.8%となっています。〈図表8〉

平成26年から5年間の認知件数の推移をみると、性犯罪を除き概ね減少傾向ですが、性犯罪については増減を繰り返している状況が続いています。〈図表9〉

※市民生活に身近な犯罪

様々な犯罪の中で、自転車盗、車上ねらい、住宅侵入窃盗など身のまわりで発生しやすい犯罪。(11罪種・手口)

〈図表8〉福岡市における市民生活に身近な犯罪の認知件数の罪種・手口別内訳(平成30年)

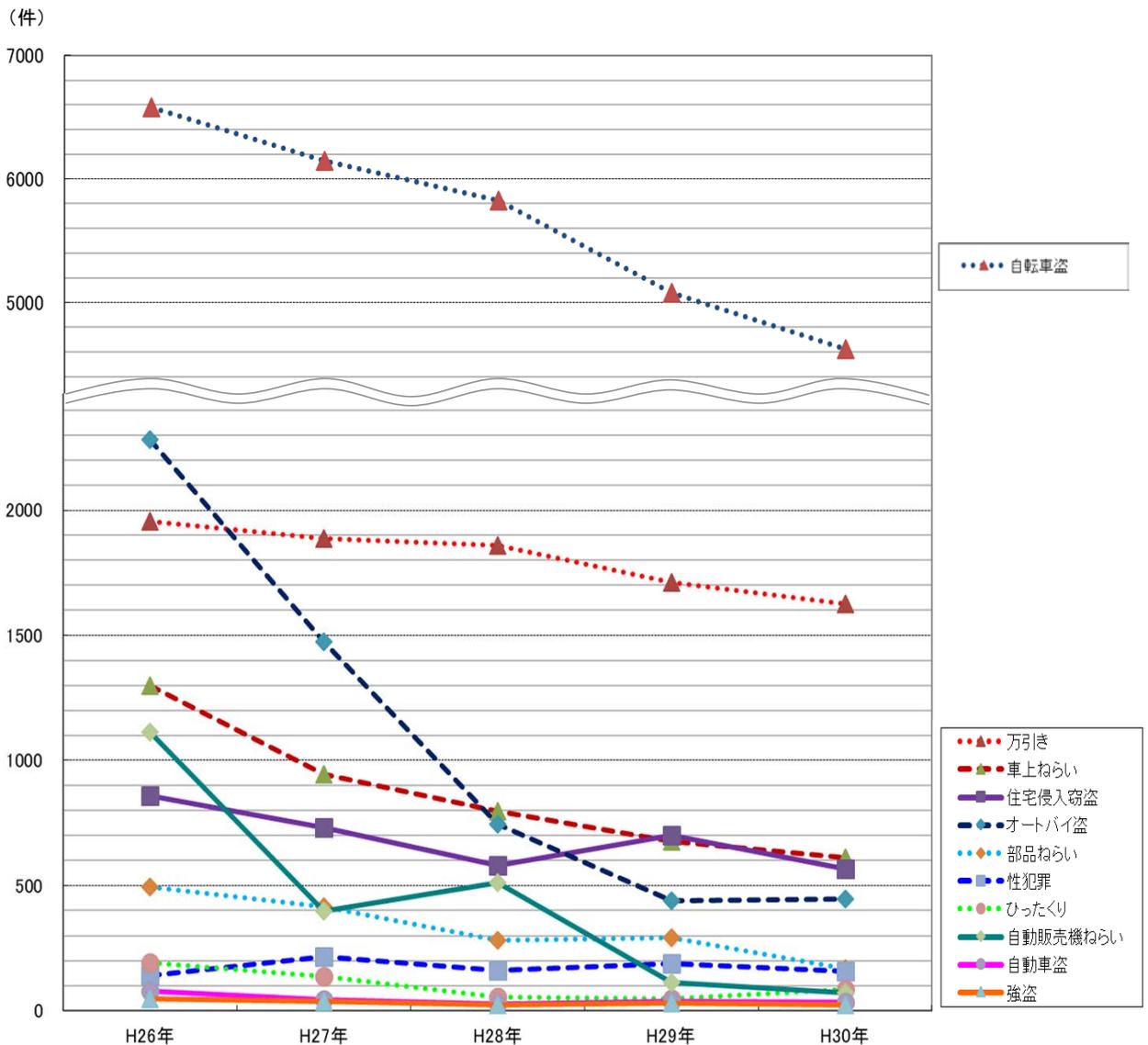


出典:福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成30年中)[確定値]」を基に作成

〈図表9〉福岡市における市民生活に身近な犯罪認知件数(罪種・手口別)の推移 (件)

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
自転車盗	6,579	6,144	5,828	5,077	4,626
万引き	1,955	1,886	1,859	1,711	1,625
車上ねらい	1,298	946	796	677	610
住宅侵入窃盗	859	732	582	700	568
オートバイ盗	2,281	1,474	745	438	445
部品ねらい	493	417	283	290	167
性犯罪	141	217	160	188	157
ひったくり	193	136	55	46	85
自動販売機ねらい	1,112	398	511	112	73
自動車盗	78	44	28	38	33
強盗	47	36	25	29	24
合計	15,036	12,430	10,872	9,306	8,413

出典:福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成26~30年中)[確定値]」



出典:福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成26~30年中)[確定値]」を基に作成

(2)政令指定都市との比較

平成30年の人口千人当たりの市民生活に身近な犯罪の認知件数では、政令指定都市中、「自転車盗」、「住宅侵入窃盗」、「オートバイ盗」、「性犯罪」、「ひったくり」の5つの罪種・手口が、ワースト5位以内に入っています。〈図表10, 11〉

〈図表 10〉政令指定都市における市民生活に身近な犯罪の認知件数(平成 30 年) (件)

市名	合計	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自販機ねらい	部品ねらい	強制わいせつ等	強盗	住宅侵入窃盗	自動車盗	ひったくり	万引き	参考	
													人口千人あたりの発生件数	ワースト順位
札幌市	5,844	601	2,406	42	46	210	95	31	367	41	14	1,991	2.97	14
仙台市	3,573	341	1,350	57	20	134	69	15	420	27	8	1,132	3.28	11
さいたま市	6,174	623	3,212	223	107	225	69	32	349	120	25	1,189	4.74	6
千葉市	4,780	484	2,202	210	25	202	89	20	399	126	61	962	4.89	5
横浜市	9,229	758	3,676	772	100	564	162	49	746	111	84	2,207	2.47	19
川崎市	4,526	271	2,693	221	97	155	74	18	203	38	30	726	2.98	13
相模原市	2,751	208	1,481	168	18	149	73	9	223	35	36	351	3.81	9
新潟市	2,529	298	961	20	117	52	26	7	211	8	3	826	3.16	12
静岡市	2,006	172	1,015	73	5	65	19	12	104	8	4	529	2.89	16
浜松市	1,901	194	710	66	2	98	47	5	147	23	3	606	2.36	20
名古屋市	11,568	1,091	4,993	283	212	686	152	48	824	348	89	2,842	4.98	4
京都市	6,871	709	3,337	384	90	403	110	15	193	67	46	1,517	4.68	7
大阪市	24,475	3,716	12,533	747	977	1,473	394	154	471	482	229	3,299	8.97	1
堺市	4,694	578	2,270	298	62	387	73	18	167	218	26	597	5.65	2
神戸市	6,075	680	2,098	491	112	331	130	37	276	33	34	1,853	3.98	8
岡山市	2,590	241	1,352	88	17	65	22	7	166	17	6	609	3.59	10
広島市	3,560	218	1,781	68	13	70	56	14	238	14	9	1,079	2.97	15
北九州市	2,727	235	1,011	114	8	90	82	10	310	20	20	827	2.89	17
福岡市	8,413	610	4,626	445	73	167	157	24	568	33	85	1,625	5.32	3
熊本市	1,915	202	935	35	5	49	28	8	104	8	5	536	2.59	18

出典：(福岡市)福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 30 年中) [確定値]」

(その他政令指定都市)各都市に照会

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

〈図表 11〉政令指定都市における人口千人当たりの市民生活に身近な犯罪認知件数のワースト5 (平成 30 年) (件)

順位	自転車盗		住宅侵入窃盗		オートバイ盗		性犯罪		ひったくり	
	市名	千人当たり	市名	千人当たり	市名	千人当たり	市名	千人当たり	市名	千人当たり
1	大阪市	4.60	千葉市	0.41	堺市	0.36	大阪市	0.14	大阪市	0.08
2	福岡市	2.92	仙台市	0.39	神戸市	0.32	相模原市	0.10	千葉市	0.06
3	堺市	2.73	福岡市	0.36	福岡市	0.28	福岡市	0.10	福岡市	0.05
4	さいたま市	2.47	名古屋市	0.35	大阪市	0.27	千葉市	0.09	相模原市	0.05
5	京都市	2.27	北九州市	0.33	京都市	0.26	堺市	0.09	名古屋市	0.04

出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 30 年中)[確定値]」及び各政令指定都市への調査内容を基に作成

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

4 刑法犯認知件数における学生等の被害状況

平成 30 年の刑法犯認知件数のうち、被害者の学識が「学生等」の件数は、3,128 件で、全体の 21%を占めています。また、被害者の学識が「学生等」の内訳を見ると、大学生の被害が 1,214 件と最も多くなっており、中学生以下の被害も 615 件発生し、「学生等」の 20%を占めています。〈図表 12〉

〈図表 12〉被害者の学識別犯罪発生状況(平成 30 年)

区分	学生等					有職	無職	その他	合計
	小学生以下	中学生	高校生	大学生	専修学校等				
認知件数(件)	238	377	634	1,214	665	7,319	1,468	3,001	14,916
割合	1.6%	2.5%	4.3%	8.1%	4.5%	49.1%	9.8%	20.1%	

← 615件(4.1%) →

← 3,128件(21.0%) →

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

〈図表 13〉被害者の学識別犯罪発生状況の推移

区 分	学生等					有職	無職	その他	合計	
	小学生以下	中学生	高校生	大学生	専修学校等					
H26年	認知件数	463	728	1,064	2,009	813	11,554	1,732	5,037	23,400
	割合	2.0%	3.1%	4.5%	8.6%	3.5%	49.4%	7.4%	21.5%	
H27年	認知件数	362	610	997	1,795	778	9,602	2,029	3,860	20,033
	割合	1.8%	3.0%	5.0%	9.0%	3.9%	47.9%	10.1%	19.3%	
H28年	認知件数	304	584	836	1,645	766	8,692	1,779	4,207	18,813
	割合	1.6%	3.1%	4.4%	8.7%	4.1%	46.2%	9.5%	22.4%	
H29年	認知件数	308	444	713	1,304	723	7,962	1,639	3,268	16,361
	割合	1.9%	2.7%	4.4%	8.0%	4.4%	48.7%	10.0%	20.0%	
H30年	認知件数	238	377	634	1,214	665	7,319	1,468	3,001	14,916
	割合	1.6%	2.5%	4.3%	8.1%	4.5%	49.1%	9.8%	20.1%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 26~30 年)

5 罪種・手口別の犯罪発生状況

(1)自転車盗

平成 30 年の場所別の犯罪発生状況では、共同住宅が 2,083 件、45%、駐輪場が 1,218 件、26.3%の順で多い状況です。〈図表 14〉

施錠の有無別の発生状況では、平成 30 年は施錠有の割合が 54.2%、無施錠の割合が 45.8%となっています。3年間の推移をみると、施錠有、無ともに減少しているものの、施錠無の割合が年々高くなってきています。

また、施錠有も未だ 50%台で推移している状況です。〈図表 15〉

〈図表 14〉場所別発生状況(平成 30 年)

区 分	一戸建住宅	共同住宅	駐輪場	路上	店舗・商業施設	会社・学校	駅	その他	合計
認知件数(件)	152	2,083	1,218	331	284	207	12	339	4,626
割合	3.3%	45.0%	26.3%	7.2%	6.1%	4.5%	0.3%	7.3%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

〈図表 15〉施錠の有無別犯罪発生状況

区 分	施錠有		施錠無		合計
	認知件数(件)	割合	認知件数(件)	割合	認知件数(件)
H28年	3,421	58.7%	2,407	41.3%	5,828
H29年	2,896	57.0%	2,181	43.0%	5,077
H30年	2,508	54.2%	2,118	45.8%	4,626

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

(2) 住宅侵入窃盗

平成 30 年は共同住宅に比べ、一戸建での発生がやや多く一戸建では2人以上の世帯が、共同住宅では、1人世帯の被害が多い傾向となっています。〈図表 16〉

平成 30 年の被害者年齢別の発生状況は、60 歳以上が 210 件で 37%、20 歳代が 116 件で 20.4%の順で多い状況です。〈図表 17〉

平成 30 年の侵入手口別の発生状況をみると、無施錠が 351 件で、全体の 61.8%を占めています。〈図表 18〉

〈図表 16〉住宅別発生状況(平成 30 年)

区 分	一戸建				共同住宅				合計
	1人世帯	2人以上	法人・団体等	計	1人世帯	2人以上	法人・団体等	計	
認知件数(件)	57	246	4	307	156	102	3	261	568
割合	10.0%	43.3%	0.7%	54.0%	27.5%	18.0%	0.5%	46.0%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

〈図表 17〉住宅侵入窃盗の被害者の年齢別発生状況(平成 30 年)

区 分	13歳未満	13～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
認知件数(件)	0	10	116	75	81	76	210	568
割合	0.0%	1.8%	20.4%	13.2%	14.3%	13.4%	37.0%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

〈図表 18〉住宅侵入窃盗の侵入手口別発生状況(平成 30 年)

区 分	無施錠	ガラス破り	その他	合計
認知件数(件)	351	96	121	568
割合	61.8%	16.9%	21.3%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

(3) オートバイ盗

平成30年の場所別の発生状況では、共同住宅が275件、61.8%、駐輪場・駐車が93件、20.9%の順で多い状況です。〈図表19〉

また、平成30年にオートバイ盗で検挙された人員のうち、27人、93.1%が少年です。〈図表20〉

〈図表 19〉場所別発生状況(平成 30 年)

区 分	一戸建住宅	共同住宅	駐輪場	駐車場	路上	店舗・商業施設	会社・学校	その他	合計
認知件数(件)	22	275	69	24	14	17	13	11	445
割合	4.9%	61.8%	15.5%	5.4%	3.1%	3.8%	2.9%	2.5%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

〈図表 20〉検挙人員の内訳(平成 30 年)

区 分	少年	成人
検挙人員(人)	27	2
割合	93.1%	6.9%

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

(4) 性犯罪

平成30年の場所別の発生状況では、道路上が59件、37.6%となっており、住宅が38件、24.2%の順に多い状況です。〈図表21〉

また、平成30年の被害者年齢別の発生状況では、20歳代が74件、47.1%と最も多い状況ですが、未成年(19歳以下)も62件、39.5%とかなりの割合を占めています。〈図表22〉

〈図表 21〉場所別発生状況(平成 30 年)

区 分	住宅	駐車場等	道路上	その他	合計
認知件数(件)	38	3	59	57	157
割合	24.2%	1.9%	37.6%	36.3%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

〈図表 22〉被害者の年齢別発生状況(平成 30 年)

区 分	13歳未満	13~19歳	20~29歳	30~39歳	40歳以上	合計
認知件数(件)	22	40	74	10	11	157
割合	14.0%	25.5%	47.1%	6.4%	7.0%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成30年)

(5) ひったくり

平成30年にひったくりにあった被害者は、男性に比べて女性が約3倍の74.1%を占めています。〈図表23〉

〈図表 23〉ひったくりの男女別発生状況(平成 30 年)

区 分	男性	女性	合計
認知件数(件)	22	63	85
割合	25.9%	74.1%	

出典：福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

6 行政区別の犯罪発生状況

商業施設や事業所等が集中し、人が多く集まる都心部がある中央区、博多区において人口千人当たりの刑法犯認知件数が全市平均を超えて高く、刑法犯認知件数も博多区、中央区の順で多くなっています。〈図表 24〉

中央区、博多区に次いで早良区における犯罪発生率が高くなっており、他区に比べ、特に住宅侵入窃盗、車上ねらいの発生率が高くなっています。〈図表 25〉

〈図表 24〉行政区別発生状況(平成 30 年)

区 分	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	全市
人口千人当たり発生件数(件)	7.6	13.7	16.3	6.2	7.5	8.1	7.4	9.43
刑法犯認知件数(件)	2,388	3,305	3,248	1,628	991	1,775	1,581	14,916

出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 30 年中)[確定値]」を基に作成

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

〈図表 25〉市民生活に身近な犯罪の行政区別発生状況(平成 30 年)

区 名	刑法犯合計	強盗	強制わいせつ	住宅侵入窃盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	ひったくり	車上ねらい	部品ねらい	自販機ねらい	万引き
東区	2,388	3	24	79	12	112	731	4	75	34	11	226
博多区	3,305	4	36	89	6	96	936	20	116	34	24	332
中央区	3,248	2	27	40	3	49	1,044	34	91	16	10	472
南区	1,628	3	26	74	4	52	532	5	64	26	6	157
城南区	991	2	13	52	1	38	353	4	45	16	7	101
早良区	1,775	7	15	203	2	51	511	12	151	17	2	129
西区	1,581	3	16	31	5	47	519	6	68	24	13	208
市全体	14,916	24	157	568	33	445	4,626	85	610	167	73	1,625

出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 30 年中)[確定値]」

〈図表 26〉人口千人当たりの市民生活に身近な犯罪の行政区別発生状況(平成 30 年)

区名	強盗	強制わいせつ	住宅侵入窃盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	ひったくり	車上ねらい	部品ねらい	自販機ねらい	万引き
東区	0.01	0.08	0.25	0.04	0.35	2.31	0.01	0.24	0.11	0.03	0.72
博多区	0.02	0.15	0.37	0.02	0.40	3.89	0.08	0.48	0.14	0.10	1.38
中央区	0.01	0.14	0.20	0.02	0.25	5.24	0.17	0.46	0.08	0.05	2.37
南区	0.01	0.10	0.28	0.02	0.20	2.03	0.02	0.24	0.10	0.02	0.60
城南区	0.02	0.10	0.39	0.01	0.29	2.67	0.03	0.34	0.12	0.05	0.76
早良区	0.03	0.07	0.93	0.01	0.23	2.33	0.05	0.69	0.08	0.01	0.59
西区	0.01	0.08	0.15	0.02	0.22	2.44	0.03	0.32	0.11	0.06	0.98
市全体	0.02	0.10	0.39	0.02	0.29	3.00	0.06	0.40	0.10	0.04	1.03

出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市町村別認知件数(平成 30 年中)」を基に作成

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

7 その他特筆すべき犯罪情勢

(1) 都心部等における犯罪の発生状況

① 都心部における刑法犯認知件数の発生状況

都心部(天神周辺地区, 博多駅周辺地区)で犯罪発生率が高くなっています。

〈図表 27〉

〈図表 27〉都心部等における犯罪発生率(平成 30 年)

区 分	天神周辺地区	博多駅周辺地区	全市
人口千人当たり 発生件数(件)	42.6	35.4	9.43

出典:「福岡県刑法犯公立小学校校区別認知件数(平成 30 年中)[確定値]」を基に作成

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

② 都心部及び大学周辺地区における自転車盗・オートバイ盗の発生状況

都心部・大学周辺地区で自転車盗・オートバイ盗の発生率が高くなっています。

〈図表 28〉

〈図表 28〉都心部・大学周辺地区における自転車・オートバイ盗の発生率(平成 30 年)

区 分	天神周辺地区	博多駅周辺地区	大学周辺地区	全市
人口千人当たり 発生件数(件)	12.2	10	3.96	3.2

出典:「福岡県刑法犯公立小学校校区別認知件数(平成 30 年中)[確定値]」を基に作成

※人口は平成 30 年 12 月 1 日付推計人口

※大学周辺地区とは, 人口千人当たりにおける校区別の自転車盗・オートバイ盗の合計件数において, 大学が立地する校区及びその校区に隣接する校区をまとめたもの

(2) 少年非行の状況

未成年者の検挙補導人員をみると, 54.1%が窃盗犯で検挙されています。

年齢別では 15 歳, 16 歳の順に割合が高く, 学職別では高校生, 中学生の順で多く, 全体の 54.9%を占めています。〈図表 29, 30, 31〉

また, 14 歳以上の犯罪少年に占める再犯者の割合は, 平成 26~30 年では, 県, 北九州市より低く, 30~40%で推移しています。〈図表 32〉

〈図表 29〉刑法犯の検挙補導人員(平成 30 年)

区 分	合 計	罪 種 別 内 訳					
		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
検挙補導人数(人)	488	2	68	264	12	19	123
割 合	—	0.4%	13.9%	54.1%	2.5%	3.9%	25.2%

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

※福岡市内に所在する警察署が検挙補導した人員の集計

〈図表 30〉年齢別の検挙補導人員(平成 30 年)

区 分	13歳以下	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	合計
検挙補導人員(人)	47	50	98	82	60	73	78	488
割 合	9.6%	10.2%	20.1%	16.8%	12.3%	15.0%	16.0%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

※福岡市内に所在する警察署が検挙補導した人員の集計

〈図表 31〉学職別の検挙補導人員(平成 30 年)

区 分	小学生	中学生	高校生	大学生	他学生	有職少年	無職少年	合計
検挙補導人員(人)	30	103	165	39	38	65	48	488
割 合	6.1%	21.1%	33.8%	8.0%	7.8%	13.3%	9.8%	
(参考)北九州市における割合	7.5%	27.3%	37.3%	3.4%	0.6%	16.3%	7.5%	

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 30 年)

※福岡市内に所在する警察署が検挙補導した人員の集計

〈図表 32〉再犯者率(14歳以上の犯罪少年に占める再犯者の割合)

区 分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
県合計	35.4%	39.0%	39.8%	37.0%	36.4%
福岡市	34.6%	37.5%	39.8%	34.3%	34.0%
北九州市	38.0%	40.8%	43.0%	38.7%	41.6%

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 26~30 年)

(3) ニセ電話詐欺の状況

福岡市におけるニセ電話詐欺の被害件数は前年の 189 件に比べて、平成 30 年は 46 件減少の 143 件となっていますが、前々年からは増加しています。

平成 30 年の高齢者の被害は全体の 65%を占めており、特に女性高齢者が多い傾向が続いています。〈図表 33〉

また、ニセ電話詐欺の阻止件数は、平成 28 年から被害件数を上回っています。

〈図表 34〉

〈図表 33〉ニセ電話詐欺の発生状況

区 分	男性			女性			合計		
	高齢者	高齢者の割合		高齢者	高齢者の割合		高齢者	高齢者の割合	
H28年(件)	44	26	59.1%	93	84	90.3%	137	110	80.3%
H29年(件)	46	27	58.7%	143	102	71.3%	189	129	68.3%
H30年(件)	24	8	33.3%	119	85	71.4%	143	93	65.0%

出典:福岡県警察提供「福岡市内における犯罪状況について」(平成 28~30 年)

〈図表 34〉福岡県内のニセ電話詐欺被害阻止状況

区 分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
阻止件数(件)	164	497	465	937	617
阻止額(億円)	5	11.3	4.1	7.9	4.1
被害件数(件)	272	497	352	597	359
被害額(億円)	12.9	18.4	6.7	11.4	6.7

出典:福岡県警察提供

(4) サイバー犯罪の状況

福岡県における平成30年に検挙されたサイバー犯罪は408件で、前年に比べ5件増加しています。〈図表35〉

福岡市立小・中・高・特別支援学校の学校非公式サイト等への問題のある書き込みや画像について監視する「学校ネットパトロール」による報告件数を見ると、学校区分別では、中学校が最も多くなっています。〈図表36〉

〈図表35〉福岡県におけるサイバー犯罪の検挙件数の推移

区 分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
不正アクセス禁止法違反(件)	12	5	13	30	5
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪(件)	10	1	0	2	12
ネットワーク利用犯罪(件)	422	387	336	371	391
合 計 (件)	444	393	349	403	408

出典:福岡県警察「福岡県における平成30年のサイバー犯罪の検挙状況について」

〈図表36〉「学校ネットパトロール」における報告件数

区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
小学校(件)	3	7	10	29
中学校(件)	1,613	1,650	1,473	1,194
高等学校(件)	315	200	426	292
特別支援学校(件)	8	0	1	0
合 計 (件)	1,939	1,857	1,910	1,515

出典:福岡市教育委員会調べ

(5) 県内の薬物事犯の検挙状況

平成30年の福岡県内の覚せい剤や大麻などの薬物事犯は959人検挙され、過去5年間は概ね900人前後で推移しています。〈図表37〉

〈図表37〉福岡県内の薬物事犯検挙人員の推移

区 分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
覚せい剤(人)	729	781	708	613	705
大 麻(人)	65	129	155	183	202
その他薬物(人)	80	117	78	59	52
合 計 (人)	874	1,027	941	855	959

出典:福岡県警察提供